

## 表紙

### タイトル

女性パートナーを身体的に虐待する男性への認知行動療法

### レビューワ

Smedslund G, Dalsbø TK, Steiro AK, Winsvold A, Clench-Aas J

### 日付

編集日:	13/07/2007
最終主要編集日:	24/04/2007
最終微調整日:	22/05/2007
次の予定される段階:	22/05/2009
プロトコル初出日:	Issue 2, 2006
レビュー初出日:	Issue 3, 2007

### レビューワ連絡先:

Geir Smedslund  
Norwegian Knowledge Centre for Health Services  
PB 7004 St. Olavs plass  
Oslo  
N-0130 NORWAY  
Telephone 1: 47 2325 5155  
Telephone 2: 47 9138 7076  
Facsimile: 47 2325 5010  
E-mail: ges@nokc.no, Geir.Smedslund@kunnskapssenteret.no

### 内部支援機関

ノルウェー人間科学センター (Norwegian Knowledge Centre for the Health Services, NORWAY)

### 外部支援機関

ノルウェーキャンベルセンター, デンマーク (Nordic Campbell Centre, DENMARK)

### レビューワの分担

Dalsbo と Smedslund がプロトコルを執筆した。

すべてのレビューワが個別に文献を選抜し、可能な実験を検討し、データを抽出した。Smedslund がデータ分析を行った。Smedslund が体系的レビュー部分を執筆し、Steiro, Winsvold 及び Clench-Aas がコメントを提供し、研究の評価を行い、必要な場合、調停者としての役割を行った。レビューのアップデートの責任は Dalsbo と Smedslund に帰せられる。

### 謝辞

研究計画, 文献選抜, マニュアルでの検索及び 2003 年の初期検索を行った Torill Johme に感謝する。また, 2006 年 11 月から 12 月に改訂版の検索を行った Sigrun Espelien Aasen にも感謝する。また, このレビューの初期段階にわれわれに研究場所と資金を提供してくれたノルウェー健康及び社会問

題理事会 (the Norwegian Directorate for Health and Social Affairs) の支援があったことも特筆に値する。また、当初の Andy Oxman の支援にも感謝したい。最後に、コクラン発達・社会心理学及び学習問題グループ (the Cochrane Developmental, Psychosocial and Learning Problems Group) のレビューグループコーディネータである Jane Dennis に対し、多くのレビューワとの調整を行い多くのレビューをこの最終レビューにまでまとめ上げるに際しての支援に感謝する。

このレビューはコクラン発達・社会心理学及び学習問題グループ (the Cochrane Developmental, Psychosocial and Learning Problems Group) との協同提供となる。

### 利害葛藤の可能性

不明

## 最新情報

### 日付

プロトコルの当初出版日:	Issue 2, 2006
第一レビュー出版:	Issue 3, 2007
主要更新日:	24/04/2007
重要でない更新日:	22/05/2007
レビューの書式変更:	//
新規研究が検索されたが、みつからなかった日:	//
新規研究が検出されたが、採用/不採用を決定されなかった日	//
新規研究が検出され、採用/不採用を決定した日	//
レビューワの結論部分に変更された日	//
コメント/批判が追加された日	//
コメント/批判に対する反論が追加された日	//

## 梗概

女性パートナーを身体的に虐待する男性への認知行動療法

家庭内暴力は一般的であり、深刻である。多くの有罪判決を受けた男性は、自身の暴力行動をやめるために、認知行動療法（CBT）の受診を裁判所によって命令されている。ほとんどの男性はそのような療法を自発的に受診することはなく、自身のパートナーからの圧力を受けたり、法的に命令されたりした後に参加する。本レビューは、身体暴力に関する CBT の効果を調査した、すべての無作為抽出効果試験を全世界から収集したが、採用のための条件に合致したのはわずか 6 編の小規模調査で、参加人員は 2343 人であった。採用された調査から導かれるエビデンスは、何がしかの結論を導くには不十分であった。

## 要約

### 背景

さまざまな国家レベルでの調査によると、女性の 10 ないし 34 パーセントが男性パートナーから身体的に暴行されたと報告している。認知行動療法（CBT）ないしはその要素を取り入れたプログラムが身体的暴力を行う男性に対してしばしば用いられている。参加者が CBT プログラムに入るのは、任意の場合もあり、裁判所の命令による場合もある。CBT は、確立された行動方略を用いて行動の変容を目標とするだけでなく、暴力に貢献すると思われる思考パターンや信念を標的とするものである。

### 目的

女性パートナーを身体的に虐待する男性に対する CBT ないしは類似の介入の効果の測定。

## 検索方法

2006 年未までの Cochrane Controlled Trials Register (CENTRAL), C2-SPECTR, MEDLINE, EMBASE, CINAHL, PsycINFO, ERIC, Care Data/Social Care Online, Sociological Abstracts, Criminal Justice Abstracts, Bibliography of Nordic Criminology 及び 2003 年までの SIGLE を検索した。1997 年から 2003 年の Santé mentale au Québec 及び論文所収の文献については手動検索した。そのほか、在野専門家、及び採用された研究の著者にもコンタクトした。

## 採用条件

女性パートナーを身体的に虐待する男性に対する CBT でランダム化比較試験（階層ランダム化試験抽出及び準ランダム化試験を含む）であって、暴力の継続に対する効果をレポートしたものの。

## データ収集及び分析

2 名の著者が独自に試験の質を判定し、データを抽出した。追加情報については著者に接触した。

## 主たる結果

6 編の研究、すべてが合衆国のもので、2343 人が参加したものが採用された。CBT と無介入対照群 1771 人のメタアナリシスでは、暴力の相対的リスクは 0.86（介入群に有利）であり、95%信頼区間（95%CI）は 0.54 から 1.38 であった。これは、エフェクトサイズとしては小さく、信頼区間が広すぎるため、効果として明確なエビデンスとはいえない。ある研究（ウイスコンシン研究）は CBT と精神力動的過程集団療法を比較しており、新たな暴力のリスクが 1.07（95%CI は 0.68 から 1.68）であった。精神力動的過程集団療法が CBT よりわずかによい結果を示しているが、この結果も両義的である。最後に物質乱用と家庭内暴力の複合治療（SADV）と 12 ステップグループ（TSF）を比較した小規模研究（N=64）があり、これは 58 人の参加者について、身体暴力事案の減少効果を調査したものであるが、効果は 0.34（TSF に有利）であり、95%CI は、-0.22 から 0.81 であった。

## レビューワの結論

ランダム化比較試験の数が少なすぎ、家庭内暴力に対する認知行動療法の効果を結論付けるには、十分ではない。

## 背景

暴力行動は、全世界の社会で重大な問題となっている。親密なパートナーへの暴力は特に問題であるが、それは、プライベートな家庭場面で行われるため、介入及び援助が難しい領域となっている。男性パートナーから女性に対する身体的暴力は深刻な問題であるが、それは、「それが、悩ましいほど高い割合の人口に影響を与え、身体的、心理的、社会的及び経済的問題に帰結する」（CDCP2003）からである。世界保健機構（WHO）は「男性の手によって、女性にはなはだしい健康上の負担を負わされている」と報告した（WHO2002）。WHO はまた、この問題の広がりに関する証拠を提供している：国家レベルの調査によると、女性の 10%ないしは 34%が親密な男性パートナーによる身体的暴行を受けたことがある（WHO2002）。

家庭内暴力は家族間で発生し、さまざまな態様を取るが、それは性的、精神的、感情的及び身体的虐待を含んでいる。本レビューにおいては、身体的虐待のみに焦点を当てている。家庭内暴力は配偶者・パートナー間や成人と子供の間で起こりうる。本レビューはパートナー間の暴力のみを取り扱うが、特に男性が女性パートナーあるいは以前のパートナーに対して身体的虐待を行うことのみの特化し

ている。したがって、家庭内暴力という言葉は本レビューの対象を表現するには広すぎ、より有用な言葉は、身体的虐待、バタリング (battering)、親密パートナー虐待といったものである。もうひとつの重要な限界は、本レビューが暴力行為の原因に焦点を当てていないことである。いくつかの生物学的、心理学的及び社会学的研究は男性が暴力行為を犯す原因を探ろうと試みている。一般的に言って、現在は暴力に結びつくさまざまな生物学的変数間の相関により焦点を当てられている。したがって、本レビューでは、厳格な身体的暴力に限らず、自尊心、物質使用及び感情的問題など、より多くのアウトカム要素を包含することになっている。

アメリカにおけるバタラー介入プログラムは、当初、家庭内暴力によって逮捕された男性への拘禁代替策として導入された。これは、賛否両論のある戦略であったが、それは、政策決定者や擁護者にとって、この代替策が、暴行が犯罪であるというよりもメンタルヘルスに関する問題であるとのメッセージを送るものとして考えられたため及びこれらのプログラムに援助を与えることで暴行された女性へのプログラムに対する援助が削減されてしまうのではないかと考えられたためである。バタラー介入プログラムで述べられる目標には大きな違いがあり、統計的に測定可能な程度に暴力を減少させるとするものから、女性を叩いてもいいのだという文化に対して行動を起こすように男性を動機付け、かつ、責任を持たせるといったものまであった。

身体的虐待を行う男性に対して非常によく用いられる治療プログラムは、認知行動療法 (CBT) といわれる心理学的介入である。CBT は確立された行動方略を用いて行動の変容を目指すだけではなく、暴力に寄与していると考えられる思考パターンや信念をも対象とする。CBT は「患者に、不適応な認知や仮説をテストさせるようデザインされている (Beck 1979)」。CBT 技法は、暴力行為の前にある、思考や信念を同定し、暴力的男性が事件後に暴力を正当化するパターンにチャレンジすることを目的としている。そのゴールは、身体的暴力を行う男性が、暴力及び暴力に結びつく環境を捉える思考方法にチャレンジし、それによって、身体的虐待に至る連鎖的事象を中断させるというものである。CBT は個人、カップル及びグループに対して行うことができる。ドゥルース・モデル (Pence 1993) と呼ばれる、よく知られた介入モデルには多くの認知行動的要素が含まれており、このレビューにも採用されている。

州及び地域における配偶者暴力事案への介入プログラムに対するアメリカのレビューは、「陪審はこれらのプログラムの効果については沈黙を保っている」とのみ述べている (Arias 2002)。配偶者に暴行を加える者がプログラムに送られた場合、その効果がポジティブかネガティブかを知ることは重要である。プログラムに効果がないか、逆の結果を招く場合、われわれは女性を将来の暴行のリスクにさらすことになる。

このレビューの射程は、女性パートナーに対して身体的虐待を行う男性に提供される認知行動療法の効果を決定することである。以前の暴力的犯罪者に対する認知的療法に関するレビュー (Butler 2000) は配偶者を身体的に虐待する者を含んでいないが、当療法は婚姻関係のストレスや怒りといった問題に対して効果をもたらすと結論付けている。現在までのところ、配偶者に対する身体的暴力を行う男性をターゲットとした CBT の効果に関する体系的レビューで、この問題に関して世界中のすべてのランダム化比較研究を収集する方法論を用いたものはなかった。ディヴィスとテイラー (Davis 1999) は文献のレビューを行っているが、文献収集方法については言及していない。より最近のレビュー (Babcock 2004) は PsychINFO を検索しただけであり、4つの検索語しか用いていない。本レビューの結果は、この形式の暴力の加害者及び被害者にとって、この問題へのこの形式の治療を求めるものにとって、また、セラピスト、研究者、裁判官及び一般大衆にとって重要なものである。

## 目的

女性パートナーを身体的に虐待する男性に対する CBT 及び類似の介入の効果を測定すること

## 本レビューで検討される研究の条件

### 研究類型

ランダム化比較試験, 準及び階層型ランダム化実験研究を含むもの, が本レビューに採用されている。対照群は介入をまったく受けなかった者, ほかの介入を受けた者あるいは順番待ちの者などである。

### 参加者の類型

女性パートナー／配偶者／妻を身体的に虐待する男性。パートナー・配偶者を虐待する女性に焦点を当てた研究は除外されている。実験が女性に暴行を働く男性と男性に暴行を働く女性の混合を対象としていた場合, 試験実施者に分割したデータを依頼した。加害者がパートナーと同居しているか, 元配偶者なのかは記録した。参加者が治療プログラムに自発的に参加した場合, 裁判所の命令によって参加した場合は両者を採用し, 別個の結果を報告することとした。

### 介入の類型

著者によって介入が認知行動的であると宣言されているか, その記載からそうであると認められる(例, ドゥルースモデル)もの。プログラムは, 個人, カップル及びグループを対象としたものであり, どのような環境で行われているかは問わない。

### アウトカム尺度の類型

第一のアウトカム尺度は, 身体的暴力行動である。その他の暴力的行動, たとえば, 攻撃的言辞, 敵対的行動なども含む。その他の, 第二次的アウトカム尺度は, 自尊心の改善, 物質乱用の減少, 怒りの管理である。自尊心, 物質乱用及び精神的ストレスに関しては, できる限り加害者及び被害者双方で記録された。効果データの測定はその追跡期間によって, 短期(0ないし6ヶ月), 7から18ヶ月の中期及び長期(19ヶ月以上)に分類された。効果測定形式については問わないが, その別は報告された(例 自己申告, 被害者申告, 裁判上及び警察の記録)。尺度については標準化されたもの及び標準化されていないものの双方が採用された。

### 研究同定のための方法

われわれは, Cochrane Controlled Trials Register (CENTRAL) (The Cochrane Library Issue 4, 2006), MEDLINE (1966 to September week 3 2006), EMBASE (1980 to 2006 week 39), CINAHL (1982 to September 2006), PsycINFO (1806 to October 2006), ERIC (1966 to September 2006), C2-SPECTR (searched December 2006), Care Data/Social Care Online (searched September 2006), Sociological Abstracts (1963 to September 2006), Criminal Justice Abstracts (1968 to September 2003), Bibliography of Nordic Criminology (1999 to December 2006),及び SIGLE (1980 to September 2003)を検索した。Criminal Justice Abstracts and SIGLE については, 2006年にはアクセスできなかったため, 2003年分までを検索した。

オンラインで提供される科学雑誌, *Santé mentale au Québec*,については1976年から2003年までの分を手動検索した。追加的研究を発見するため, レビューは在野専門家及び 検出された研究の著者にコンタクトした。出版バイアスを最小限のものとするため, 学会発表論文集についても検索した。関連する論文を発見するため, 採用された研究の文献リストについても検索した。言語や国にこだわらず, 研究を採用した。

CENTRAL の検索については, 以下の方法を用いた。他の電子データベースの検索に当たっては, それに適合した方法に変更した。それらは表 02, 表 03, 表 04, 表 05, 表 06, 表 07, 表 08 及び表 09 に

掲げてある。

CENTRAL, The Cochrane Library Issue 4, 2006 (Sigrun Espelien Aasen) で用いられた検索方法

#1MeSH descriptor Battered Women, this term only #2MeSH descriptor Domestic Violence, this term only #3MeSH descriptor Spouse Abuse, this term only #4((family or domestic or conjugal or partner\*) near/3 violence):ti,ab,kw #5((abus\* or batter\* or beat\* or assault\*) near/3 (wom\*n or partner\* or spouse\* or female\* or wife or wives or domestic\* or fiance or cohabitant\* or live-in)):ti,ab,kw #6((male\* or men or man or partner\* or spouse\* or husband or fiance or cohabitant\* or live-in) near/3 (batter\* or perpetrator\* or abus\* or violen\* or beat\* or assault)):ti,ab,kw #7(#1 OR #2 OR #3 OR #4 OR #5 OR #6) #8MeSH descriptor Behavior Therapy, this term only #9MeSH descriptor Cognitive Therapy, this term only #10MeSH descriptor Psychotherapy, Rational-Emotive, this term only #11(cognitive\* near/3 (therap\* or train\* or techni\* or question\* or approach\* or assessment\*)):ti,ab,kw #12((behavior\* or behaviour\*) near/3 (therap\* or train\* or modif\* or experiment\*)):ti,ab,kw #13(rational\* near/3 emotive\*):ti,ab,kw #14(cbt):ti,ab,kw #15(schemas or schematas):ti,ab,kw #16MeSH descriptor Imagery (Psychotherapy), this term only #17(imager\*):ti,ab,kw #18((cognitive\* or mental\*) near/3 (map\* or model\*)):ti,ab,kw #19(Socratic\* near/3 (question\* or method\* or dialogue\* or strateg\* or sequence\*)):ti,ab,kw #20(dysfunctional near/2 (thought\* or assumption\* or rule\* or appraisal\* or belief\* or attitude\* or scheme\*)):ti,ab,kw #21(automatic near/3 (thought\* or process\*)):ti,ab,kw #22(nat or nats):ti,ab,kw #23(reattribution\*):ti,ab,kw #24((key or core) near/2 belief\*):ti,ab,kw #25(#8 OR #9 OR #10 OR #11 OR #12 OR #13 OR #14 OR #15 OR #16 OR #17 OR #18 OR #19 OR #20 OR #21 OR #22 OR #23 OR #24) #26(#7 AND #25)

## レビューの手法

### 研究の採用

第一義的な研究の検索は上記の方法によって行われた。The Reference Manager データベースが SRS (電子的スクリーニング及びデータ抽象化ソフトウェア) (SRS2005) に取り込まれた。第一義的スクリーニングレベルにおいては、単一のレビューワの同意により、文献目録が第2レベルに持ち上げられ、2人のレビューワが文献目録をレベル3 (全文の入手依頼) にもち上げる。レベル3の関係実験データがすべて抽出され、「取り入れられた研究の特徴」表に入力された。このプロセスにはすべてのレビューワが参加した。2人のレビューワが合意しない場合、第3番目の著者が調整をおこない、合意によって当該研究を取り入れるか取り入れないかを決定した。

### データ抽出及び管理

2人のレビューワが採用された研究から、オンラインデータ抽出様式を用いて、それぞれデータを抽出した。レビューワ間の不合意が SRS での干渉を引き起こす場合、協議して解決する必要があった。不合意が解決されない場合は、第3レビューワに解決がゆだねられた。元レポートに結果及び重要な情報が欠けていた場合、原著者に電子メールでコンタクトをとり、分析のために必要な情報を取り出すよう求めた。以下のデータが採用された研究から抽出された。

研究の性格：実験が行われた国、出版年、出版タイプ (研究誌, レポート, 本の章)。参加者：年齢, 社会経済的地位, 人種, 以前の暴力行為史, 及びそれにたいする治療, 現在の物質乱用, 追加的問題・障害, 婚姻関係

介入種類：内容, 期間・時間, プログラム (ないしは介入) 実施者の職業, セラピスト, グループリーダーの性別及び人数, 女性への支援, 強制的実施の状況, 減衰率, 遵守率, 対照群のタイプ (無介入, 他の介入)。

アウトカム尺度：身体的暴力, 攻撃, 自尊心, 物質乱用, 怒りの統制

アウトカム尺度の出典：公的統計, 自己申告, パートナーのレポート, その他の結果尺度を集めるた

めの様式

フォローアップ期間：月及び年

エフェクト尺度：標準化された及び標準化されない尺度並びに生データ，もしくはその両方

### 採用された研究の質の検証

「妥当性の分散がシステマティックレビューに取り込まれる研究結果の分散を説明する」(Higgins 2005) ため，取り込まれた研究の内部妥当性を調査した。2名のレビューワが独立して，選定された研究の質を下記により調査した。不明な点及び不都合であった点は第3のレビューワとの話し合いによって解決された。研究妥当性を調査するに当たって，レビューワに対しては，著者名や出版情報が隠されていなかった。研究の質やその他の情報が欠落しているときには，そのたびに研究の著者と連絡を取り，研究の質よりも報告方法の質を検証するような危険を最小化しよう心がけた。われわれの目的は，以下の6点に要約される方法論的なクライテリアに基づいて，内部妥当性に関する相対的な調査をすることであった。

#### 割付順番の創出方法

適合＝順番が予見不能である(コンピュータによるランダム番号の創出，乱数表，くじ引きないしは封筒を引くこと，コイントス，カードを混ぜる，さいころを振るなどの方法が明示されている)。不詳＝研究はランダム化されているとの表現はあるが，ランダム割付順番との明示がない。不適合＝不適切な割付順番の創出が明示されている(例，ケース記録番号，変更，入所日，誕生日の利用など)。

#### 割付順番の陰蔵

適合＝参加者においても調査者においても割付けを予測することができない(実験実施場所から離れた場所での中央集権化されたランダム化，一連番号が付され，封印された，透明でない封筒の使用など)。不詳＝研究がランダム化されているとの表現があるが，割付けの陰蔵についての表明がない。不適合＝割付けが陰蔵されていないとの明示の表現がある，または，参加者及び調査者においても来るべき割付けを予想することができる(例，割付けスケジュールが公開されている，封印されていない，不透明でない封筒など)。

#### パフォーマンスバイアスの回避

適合＝対照群において，他の認知行動療法に基づく介入が避けられているか統制されている。不詳＝認知行動療法以外の介入が報告されていない，あるいはそれが調査者に連絡しても確認できない。

不適合＝対照群において認知行動療法以外の介入が不平等に使用されている。例，調査の対象となる対照群の参加者に異なる種類の援助が適用されている等。

#### 検出バイアスの回避

適合＝アウトカム尺度を収集する際に検出者が割付けられた治療について感知していない。不詳＝検査者の「ブラインディング」についての報告がない，あるいは，調査者と連絡しても判明しない。不適合＝アウトカム尺度を収集する際に検査者が割付けられた治療を知っている。

#### 減衰バイアスの回避

適合＝フォローアップ時点での減衰率が 20%以下であり，それが(2名のレビューワが判定した結果) 対照すべき群の間で均一に分布していると認められる(例，18%，16%など)。



不詳=フォローアップ時点での減衰が報告されていない。不適合=フォローアップ時点での減衰が20%以上であるか、それが(2名のレビュー者が判定した結果)対照群の間で不均一に分布していると認められる。

### ITT (Intention-to-treat)

適合=ITT分析がなされている,あるいは,提供されたデータから可能である。不詳=ITTが報告されていない,あるいは,調査者と連絡しても確認できない。不適合=ITT分析がなされておらず,レビュー者が独自に計算することができない。

### データ分析及び発表

われわれは二元的なアウトカム尺度(たとえば,暴力的/非暴力的)をリスク割合(相対的リスク)として表現した。連続尺度は平均値の差,あるいは,(異なる尺度が使われている場合)標準化された平均の差として計算した。以上全ての値に関して95%信頼区間を報告することとした。一次研究に十分に均一性が認められる場合,固定効果メタ=アナリシスを用い,均一性はQテスト( $\chi^2$ 二乗,P値)によって検証され,異質性の度合いについては $I^2$ (I二乗)(Higgins 2002)により測定した。しかし,決定はこれらの手続の結果のみによったわけではない。公式な手続に加えて,良識,尺度の性質,なども考慮に入れた。研究のエフェクトサイズ間に統計的に有意な異質性が認められる場合,ランダム効果モデルが用いられた。ランダム効果モデルに関して,研究全体のエフェクトサイズはDerSimonian及びLaird方式により蓄積された。固定効果モデルに関して,二分データが用いられた場合(Peto方式がデータ分析に用いられた場合を除き)Mantel-Haenszel方式を採用し,あるいは,連続的及び一般inverse varianceデータに関しては,inverse varianceを用いた。われわれは,異質性を検証するためにフォレスト・プロット図も用いた。

### クラスターランダム化試験

本レビューでは該当する試験は特定されなかった。将来のアップデートに関しては表10参照のこと。

### 従属的アウトカムの取り扱い

いくつかの一次的研究では,同じ参加者に関して,いくつかの異なったアウトカムが測定されている。時として,同じアウトカムが異なる時点で測定されている。これらのデータが同じ参加者のサンプルから出されており,したがって,治療効果の独立した予測とはならないことから,それぞれのサンプルから導かれるのは最後の,ひとつのアウトカム(一ヶ所で測定されたひとつの尺度)であるとして分析した。最後のアウトカムを利用する正当性はわれわれがもっとも長いフォローアップ期間を採用しようとしたためである。治療方法が複数ある場合,対照群のひとつの治療方法のみを比較することとした。このような判断とその理由は,結果部分に,研究ごとに報告されている。

### 異質性

第一次的研究に統計的に有意な異質性が認められた場合,これを説明するものとして次の要因が検討された—参加が任意なのか強制なのか,介入の集中度か長さ/期間か,参加者の性質の差か。もし第一次的研究があまりにも異質であり,ひとつのグループとして取り扱えない場合,メタ=アナリシスは採用されなかった。もし一次研究が多数あった場合,異質性の原因を同定するために要因ごとに分類することとした。確認された要因が異質性にどのように関係しているのかを探求するために,調節的分析(副次的グループを階層化すること,ANOVAに類似したメタ=アナリシス,メタ回帰)を検討した。

## 出版バイアスの検討

われわれは、ファネルプロット漏斗図 (図 01) を用いて、出版バイアスの蓋然性を探求した。ファネルプロット漏斗図の非対称性は、本レビューにおける出版バイアスを示すものかもしれないが、他の手法上の問題、あるいはサンプルサイズの問題を示すものかもしれない。ファネルプロット漏斗図の非対称性が確認された場合、研究の臨床的側面における多様性が検討された (Egger1997)。

## センシティブティ分析

センシティブティ分析はこのレビューでは不適當である。将来のアップデートに関しては表 10 参照のこと。

## 研究の概要

### 検索結果

第一次的検索の結果、1969 件の記録が確認され、そのうち 1724 件が明らかに無関係として排除された。245 件の可能性のある記録に関して、75 件が更なる分析の対象として確認された。

### 採用された研究

全文を読んだ後、12 件の記録が採用された。それらは合衆国で行われた 6 編のランダム化試験の結果であった。クラスターランダム化試験を採用したものはなかった。2 種類の比較がなされており、4 編の研究は CBT と無介入の対照群を比較しており、2 編の研究は CBT と他の治療を比較したものである (図 02 フローチャート参照)

### CBT 対対照群

Bronx Exp.2005 では、420 人の男子家庭内暴力加害者が 4 つの実験条件にランダムに割付けられた。

(1) バタラープログラムと月毎の裁判官による監視, (2) バタラープログラムと段階的監視, (3) 月毎の監視のみ, (4) 段階的監視のみ。このモデルは、暴力は男性の女性虐待を支持する社会規範に根ざしているとの考えに基づいている。バタラープログラムの効果を測定するために、われわれはバタラープログラムを受講した 2 群を統合し、プログラムを受講していない 2 群と比較した。フォローアップは裁判所の命令に従って 12 か月間行われ、ほとんどの者について 18 か月行われた。プログラムはグループ形式で行われ、26 週間続いた。

Brooklyn Exp. 2000 では、裁判所によって命令された 376 人がバタラープログラムないしは暴力行動とは無関係なプログラム (40 時間のコミュニティーサービス) にランダムに割付けられた。バタラープログラムの期間は 39 時間であるが、ある者は 26 週間の完全なプログラムに割付けられ、他の者は 8 週間のプログラムに割付けられた。被害者と加害者に対するインタビューが裁判所の命令の日から 6 か月後及び 12 か月後に試みられた。刑事司法機関の記録によって、同じ被疑者と被害者について、新たな犯罪の記録や逮捕が行われていないか検証された。

フロリダ州ブロード郡で軽罪により有罪宣告を受けた総計 404 人の男性がドゥルースモデルを利用したバタラープログラム及び 1 年の保護観察に無作為に割付けられた (Broward Exp. 2000)。ドゥルースモデルは、フェミニスト的及び認知的心理教育プログラムをグループセッションで提供するものである。その目的は、家庭内暴力を行う犯罪者に対して、暴力が女性を管理しようとする男性の行動の一部であることについて理解を促進させようとするものである。調査者の仮定は、体制に順応することについて強い利害をもつ者が、そのような利害を持たない者に比較して再犯可能性が少ないというものだった。犯罪者は、判決時及び判決後 6 か月ならびにその 12 か月後に聞き取り調査を受け

た。保護観察記録の調査及び所轄警察の協力に基づき新たな逮捕記録をコンピュータ調査することによって判決後1年にわたって被疑者を追跡した。

本レビュー中最も大規模な研究は軍で行われた (San Diego Navy 2000)。参加者は海軍軍人で、妻に身体的暴力を加えた証拠のあるものであった。861組のカップルが4グループに無作為に割り当てられた。男性グループ (N=218) , 混合グループ (男性が妻と一緒に参加する) (N=216), 強化モニターグループ (N=213) 及び対照群 (N=214)。男性グループは毎週1回6ヶ月にわたってグループに参加し、その後さらに6ヶ月間毎月参加した。グループは教養部分と活動部分を含んでおり、セッションの教養部分では、グループリーダーが加害者の女性への態度及び価値、女性への暴力について指摘し、女性への暴力継続を除去するのに役立つと考えられているさまざまなスキル (例、認知再構成法、教官拡大、コミュニケーションスキル、怒りの変容及び羨望) を講義した。セッションの手続面では、教養部分で浮かびあがってきた問題及びそのほかの問題を取り上げた。混合グループは、基本的に男性グループと同様であるが、妻が同席していた。強化モニターグループでは、「順応への利害 stake in conformity」の手法に基づいて作られ、システム化された公式の監視手続の下で、加害男性において妻への虐待の責任を取らされるのが虐待の継続をとめるか否かを検証した。これらの介入は認知行動的であり、アウトカムデータは男性の軍人及びその女性配偶者に関しておよそ6か月間隔で18か月の実験期間にわたって収集された。介入は12ヶ月継続した。われわれは、男性グループと他の対照群を比較することとしたが、これは、この比較が採用された他の研究と最も類似する、と考えたからである。

### CBT 対他のセラピー

ある研究 (Wisconsin Study 1996) においては、218人の男性がフェミニスト的認知行動療法グループ (FCBT) ないしは精神力動的過程集団療法 (PPT) にランダムに割付けられた。FCBTは漸進的リラクゼーションに焦点を当て、コーピング思考を用いて、感情に配慮することを目指しているが、PPTは子供時代の喪失や拒絶、子供時代の暴力体験やグループ内での感情的な安心感に焦点を当てている。FCBTはリーダーにロールプレイ、講義及びアドバイスを与えることを求める一方、PPTは自己開示に焦点を当てていた。治療の一貫性はそれぞれのセッションの録音により確認された。治療をすべて受講した136人の79%に当たる者の配偶者が、治療後平均2年にわたる男性の行動について報告を提出した。逮捕記録及び男性の自己申告も含まれている。

もうひとつの研究 (Yale Study 2007) はコネチカット州で行われ、薬物依存で親密なパートナーに対する暴力のある犯罪者を次の治療に無作為に割付けたものである。すなわち、12週間の物質依存及び家庭内暴力プログラム (CBTに基づく) (N=32) 及び12週の12ステッププログラム (N=32) である。データはSCID (DSM-IV-TRによる構造的臨床インタビュー)、依存深刻度尺度 (ASI)、物質乱用カレンダー、改訂 Conflict Tactics Scale、呼気サンプル、尿検査、女性パートナーからのベースライン・月毎・治療後のレポートによって収集された。

### 取り入れられた研究の手法的特質

すべての採用された研究はランダム化されているとの報告がなされており、6編の研究4編についてはランダム化手続が適切であった。割付の陰蔵については、3編の研究において適切と判断された (Bronx Exp. 2005; San Diego Navy 2000, Yale Study 2007)。4編の研究においては、実験的研究であることを除いて、グループ間の治療にシステマチックな違いがないことは明らかであった (治療バイアスの可能性が低い)。Yale Study 2007を除き、検出バイアスについては不詳であった。すなわち、結果を収集している者が治療の割付けについて知っているか否かが不詳であった。しかしながら、これはアウトカムが刑事司法機関の記録よっている場合には問題がないかもしれない。海軍 (San Diego Navy 2000) のみが、ほとんどの参加者を介入に保持することができていた。ITT (Intention to treat) はすべての研究で適切であった。ランダム化は、判事がある種の被疑者を対照群におきたがらないことから割り付けを変更することがあり、しばしば徹底できなかった。要約すると、比較的中位のバイ

アスリスクであると判定した San Diego Navy 2000 を除いて、すべての研究でバイアスのリスクが高い。

## 結果

### CBT 対対照群

#### *新たな暴力の割合*

Bronx Exp. 2005 (Bronx Exp. 2005)における相対リスクは 1.96 であり、CBT が新たな暴力に有害であることを示唆するものの、95%信頼区間が 0.96 から 3.99 であるというのは広すぎ、統計的に有意ではない。Brooklyn Exp. 2000 (Brooklyn Exp. 2000)においては、CBT は明らかに新たな暴力に効果がある(相対リスク 0.39, 95%信頼区間 0.23-0.67)。これは、平均的に、介入が対照群に比較すると暴力を 61%減少させることを意味している。Broward Exp. 2000 (Broward Exp. 2000)における相対リスクは 1.01 であり(効果なし)、95%信頼区間は 0.71-1.42 であった。San Diego Navy 2000 研究の結果は、対照群に比較して、介入群に効果が認められる(相対リスク 0.82)しかしその効果は統計的に有意ではない(95%信頼区間 0.63-1.09)。

要約すると、6 編の研究中 4 編で CBT と対照群を新たな暴力の側面から比較している。効果は両義的であり、効果はいずれの方向にも大きなものであった。一編の研究(Brooklyn Exp. 2000)のみが統計的に有意な効果を示しており、それは積極的なものであった。1771 人の男性に関するメタ=アナリシスによるとリスクの割合は 0.86 であるが、95%信頼区間は差がないというものも含んでいる(0.54 から 1.38)。

### CBT 対他のセラピー

#### Wisconsin Study 1996 (FCBT 対 PPT)

#### *新たな暴力の割合*

Wisconsin Study 1996 (Wisconsin Study 1996)のリスクの割合は 1.07 であるが、統計的に有意ではない(95%信頼区間 0.68-1.68)。

#### Yale Study 2007 (SADV 対 12 ステップ)

#### *新たな暴力の頻度*

Yale Study 2007 によると一月単位の暴力エピソードの平均値は SADV グループの治療後(0.95)の方が 12 ステップ(0.73)より高かった。これは、標準化された平均差で 0.30 (95%信頼区間-0.22 から 0.81)であった。

#### *新たな暴力の存在*

SADV では、3 人について暴力の報告があり、12 ステップでは 2 人であった。これは、リスクの割合では 1.50 に当たる(95%信頼区間 0.27 から 8.32)。

## 検討

女性パートナーに身体的虐待を加える男性に対する認知行動療法に関してはランダム化された評価は少数しかなく、そのような評価は現在までのところ合衆国でのみおこなわれている。これらの研究は比較的サンプルサイズが小さく、もっとも大きなもので 861 人の参加者であった。本レビューは出版言語及び地域に偏らない拡大検索を行った。研究の数が少なかつたため、異質性の原因を、例えば、メタ回帰又は層化分析等によってモデル化することができなかった。メタ=アナリシ

スは一度のみ行われた。結果は相反しており、異質であったが、出版バイアスの存在は明らかに認められなかった (図 01)。ファネルプロット漏斗図にある研究の数 (N=4) は、少なすぎるため、この解釈には大きな注意を要する。採用された研究の手法の質は一般的に低かった (表 01)。ランダム割付けの手の陰蔵については、ほとんどの場合、不詳であるか不適切であった。さらに、アウトカムの評定者が割付けについて知っていたかどうかは不詳であった。最後に、減衰率は、不明か高いものであった。割付けの陰蔵が不詳であること及び減衰率の高さは選定バイアスが高いことに結びつくが、評定者のブラインディングについては、刑事司法の記録はかかれたものであるため、深刻な問題ではない可能性がある。

二人の匿名のレビューは現代の合衆国での議論に関する多くの事項を指摘したが、それらにここで触れる必要があるだろう。男性加害者のパートナーは何がしかの援助を受けているが、このサポートにより、男性に対する介入の効果とは独立に、配偶者が新たな暴力を報告することを助長している可能性がある。このレビューは、身体的暴力にのみ焦点を当てているが、介入が身体的暴力に対する効果があったとしても、加害者は感情的支配行動を続け、あるいは増加させる可能性がある (Dobash 2000)。多くの暴力行動はほとんど警察に通報されないことから、刑事司法上の記録に頼ることは問題である。幾人かの著者は、暴力回避プログラムへの送致は、公的な目的とは異なる黙示的なメッセージ、すなわち暴力は深刻には受け止められていないというメッセージを送ることになるのではないかと、との懸念を抱いている。これが次の議論を生む。検討された研究すべてにおいて、ある程度の遵守手続があったものの、遵守違反への罰則は極めてまれである。さらに、参加者と脱落者の対比は選定バイアスに関して重要な問題を提起する：すなわち、プログラムを修了する男性のほうが、全く参加しない、あるいはドロップアウトする男性よりも暴力をやめるための動機付けができていないのか、という問題である。ランダム化された統制は選定バイアスをなくすものであるべきである一方、遵守のモニターが機能していないことは、実はそうならないことを示唆している。本レビューは行動の変容に焦点を当てているが、多くのプログラムは行動が変容される可能性は少ないと見ている。それらはよりメッセージの伝達、再教育あるいは教育に重点をおいている。

CBT は広いカテゴリーであり、多くの異なるアプローチを包含している。合衆国で最も広く用いられているモデル、ドゥルースモデルは、CBT の要因を含んでいるため、本レビューに採用された。これを採用しないと合衆国におけるほとんどのバタラー向け介入プログラムを排除してしまうことになる。しかし、このプログラムが CBT 要因を含んでいることは、すべての人がこれを CBT であると評価していることにはならない。ドゥルースモデルは、伝統的 CBT プログラムには包含されていない、強い反性差別主義的メッセージを含んでいる。

本レビューの結果を世界のほかの地域に一般化するに当たっては注意が必要である。第一に、地域によっては、暴力リスクのベースラインが異なるかもしれない。第二に、治療に従う動機は、暴力的男性の種類によって異なるかもしれない。セラピーに入る動機は、人それぞれである。彼らの配偶者が、セラピーに入らなければ分かると脅したかもしれないし、裁判所の命令によってかもしれない。体制順応の利害は異なるし、そのような要因 (職業及び年齢) が治療への参加及び再犯を予見している (Broward Exp. 2000)。

## レビューの結論

### 実務への含意

研究のエビデンスによると、配偶者を虐待する者への認知行動的介入が女性パートナーへの暴力を減らし、あるいは、除去する効果について効果があると結論付けるには不十分である。これは、効果がないとの結論ではないことに注意が必要である。われわれには、単純に、介入が助力になるのか、効果がないのか、害になるのか、わからないのである。

## 研究への含意

合衆国，そしてほかの国において，より多く，そして大きな規模のランダム化介入が必要である。他の領域，例えば，職業福祉領域などでは，エビデンスの重みが40万人の参加者のランダム化効果試験などが可能となっている（Smedslund 2006）。それぞれの一次研究で，数千人のランダム割付けがなされている。世界の他の地域ではランダム化介入研究は全く存在していない。これは，家庭内暴力の場合，職業福祉の領域のようには簡単ではないのかもしれないが，そのような介入は，CBTの家庭内暴力への影響を推測するのに非常に必要である。



採用された研究の特徴

研究 ID	手法	参加者	介入	結果	備考	割付の陰影
Bronx Exp. 2005	ランダム化比較試験 2×2 要因デザイン, 登録データ, インタビュー	家庭内暴力の軽罪によって罪状認否を行い, 同違反による有罪を受け, かつ 1 年の接近禁止命令つきで条件付釈放された犯罪者 420 人。平均年齢 30.8 歳, 黒人 40%, 42%ヒスパニック, 18%白人及び他の人種。	4 種の異なる介入:(1)バタラープログラム+毎月のモニタリング(2)バタラープログラム+修了時のモニタリング, (3)毎月のモニタリングのみ, (4)修了時のモニタリングのみ。バタラープログラムは 26 週間で, 毎週 75 分。	再逮捕記録, 被害者による再虐待の報告, 被害者満足度		A
Brooklyn Exp. 2000	ランダム化比較試験 バタラー及び被害者に判決日後 6 が月及び 12 か月時に面接, 加えて, 新たな犯罪報告及び逮捕について刑事司法機関の記録を調査	裁判所で命令を受けたバタラー376 人。	授業時間 39 時間, 26 週間のプログラムに割り当てられたもの以外は 8 週間のプログラム。統制群は 40 時間のコミュニティーサービスに従事。介入は, 家庭内暴力の定義, 家庭内虐待の歴史及び文化的側面, 刑事及び法的側面の分析。バタラーは自身の怒り, 行動, 反応行動に責任を持つことを奨励される。	相対的暴力		C



<p>Boward Exp. 2000</p>	<p>ランダム化比較試験 結果は、バタラー及び被害者の面接、再度の暴行についての警察記録から収集</p>	<p>1997年の5ヶ月間に Broward 郡裁判所で、家庭内暴力の軽罪で有罪判決を受けた男性 (N=404)</p>	<p>フェミニスト、認知的心理教育課程が 26 週間グループセッションで教えられる、ドゥルースモデル。統制群に割り当てられた男性は 1 年の保護観察。</p>	<p>判決時(時間1)と判決後最低 6 か月(時間2)との比較により変化を調査。犯罪者の態度、信念、自己申告による態度が収集された。Conflict Tactics Scale の改訂版に答えた。</p>	<p>順応性に介入が次の暴力の可能性を低める効果があるか否かを予測すると予測。地域では、男性を免責プログラムに割り付けることに対する議論があった。これが、被害者の報告率が低く、スタッフ定着率の低さ、遅延及びそのほかの問題の原因となった。</p>	<p>C</p>
-----------------------------	--	--	---	--	--	----------

<p>San Diego Navy 2000</p>	<p>ランダム化比較試験サンプル収集に 46 月を要した。コンピュータにより、以下の 4 グループのひとつに分類: 男性グループ, 混合グループ, 厳格調査グループ, 統制グループ</p>	<p>夫が妻を身体的に暴行したと立証された海軍の現役軍人カップル 841 組。平均年齢 27 歳, 平均婚姻期間 47 ヶ月。83%が子供を持ち, その平均数は 1.7 人。平均学歴は 12.7 年</p>	<p>男性グループは変化モデルに基づく認知行動療法を用い 6 ヶ月にわたり毎週ミーティングを行い, その後 6 ヶ月は毎月のミーティングに参加。総治療機関は 1 年。混合グループは 26 週間にわたり毎週の教育的及びプロセスアクティビティに参加し, 6 ヶ月に及び毎月のフォローアップに参加する。男性グループとの主要な差は妻の参加の有無。厳格調査グループは彼らの虐待に関して実行者の責任を求めるようにした。6 週間ごとに実行者がサンディエゴ群で逮捕及び裁判所に引致されたか否かが確認された。妻に対して, 新たな虐待が会ったか否か, 毎月聞き取り。統制グループに割り当てられた男性は治療を受けなかったが, その妻たちは「安定化及び安全計画」といわれる支援を受けた。</p>	<p>4 種の結果尺度が利用された。自己申告エピソードスケールは被害者及び加害者が報告した, 3 段階の分類された事件及びエピソードの数を調査。2 番目の結果尺度, Modified Conflict Tactics Scale は, 報告者が報告する虐待行動の種類に焦点を当てる。3 番目の結果尺度はサンディエゴ郡域内に住む, 回答者(被害者及び加害者)の公的警察及び裁判記録。第 4 番目は公的記録に存する継続する配偶者暴力の最初の日と新たな身体的損傷の報告が比較された。</p>	<p>A</p>
----------------------------	--	---	---	--	----------

<p>Wisconsin Study 1996</p>	<p>ランダム化比較試験処遇の整合性が、各セッションの録音テープをコーディングすることによって保たれた。</p>	<p>精神科外科外来として認証された家族カウンセリング機関に刑事司法システムから委託され、治療を受けることとなった男性 218 人</p>	<p>フェミニスト認知行動療法 (FCBT)ないしは、精神力動的過程集団療法 (PPT)。FCBT は非常に構造的なフォーマット。アジェンダと課題がそれぞれのセッションに含まれている。それぞれのセッションにコミュニケーション及び認知スキル、リラクゼーション、感覚遮断法、性役割及び女性への暴力から生ずる心象並びに行動的認知的リハーサルを含む。PPT はアジェンダを含まず、むしろ、信頼と安心感の構築、子供時代のトラウマの発見、子供時代のトラウマ体験の再関係付けに焦点を当てる。</p>	<p>136 の治療完了者のうちの 76% が治療後平均 2 年後の男性の行動を報告した。これらの報告は逮捕記録及び自己申告報告で補完された。</p>	<p>仮説によると、フェミニストの認知行動療法は反社会的成功を持った男性に効果があり、経過心理力動的モデルは、中程度から高程度の依存ニーズのある男性に効果的-それらの男性はグループプロセスや自己認識を増長するような手法に参加したがるためである。</p>	<p>B</p>
<p>Yale Study 2007</p>	<p>ランダム化比較試験</p>	<p>近親配偶者暴行の記録のある薬物依存犯罪者 (N=64)。平均年齢 38 歳、人種構成は以下のとおり。白色人種 49%、アフリカ系アメリカ人 33%、ヒスパニック 10%、その他 8%。</p>	<p>12 週間の薬物乱用及び家庭内暴力グループ (CBT に基礎を置くもの、N=32) 及び 12 週間の 12 ステップ集団療法。</p>	<p>SCID、依存症深刻度尺度、「物質使用カレンダー」、改訂 Conflict Tactics Scale、呼気検査、尿内毒物スクリーニング及び女性パートナーからの報告を基準として利用。</p>		<p>B</p>



考慮されなかった研究

Study ID	理由
Bern 1984	介入に関する研究ではない
Currie 1983	RCT でない. CBT でない.
Currie 1985	RCT でない. CBT でない
Deschner 1986	RCT でない
Dowden 1999	RCT でない
Dutton 1986	RCT でない
DVFCT Program 2004	対象者は、個別のカップルセラピーか、複数のカップルによるグループセラピーに無作為に振り分けられた。対照群の生成に当たっては、ランダム化が行われていなかった。
Easton 2006	介入に関する研究ではない.
Echeburúa 1997	RCT でない
Eckhardt 2004	RCT でない
Edleson 1990	CBT でない
Edleson 1991	レビュー CBT でない.
Elliott 2003	RCT でない
Fals-Stewart 2001	参加者が誤り
Fals-Stewart 2002	RCT でない
Fals-Stewart 2005	介入に関する研究ではない
Flournoy 1992	ランダムではない
Goldkamp 1996	CBT ではない
Gondolf 1985	レビュー
Gondolf 2000	RCT でない
Gondolf 2001	RCT でない
Gondolf 2004	RCT でない
Gondolf 2005	RCT でない
Gray 2004	RCT でない. CBT でない
Hamberger 1989	RCT でない
Hanson 2003	RCT でない
Harrell 1991	RCT でない
Harris 1981	全文を入手できず
Hendricks 2006	無作為でない
Howard County 2003	無作為化されていない
Johnston 1985	RCT でない
Jones 2001	介入に関する研究ではない
Jones 2002	CBT でない
Kriner 1988	RCT でない
Lanza 2002	対象者が誤り
Lawson 2006	無作為試験ではない
Leonard 2005	論説
Loza 1999	対象者が誤り. RCT でない. おそらく CBT でない
McAllister 2003	無作為試験ではない
Moore 1994	RCT でない

Morrel 2000	RCT でない
Morrel 2003	RCT でない
New Zealand 2005	無作為試験ではない
Nosko 1988	RCT でない
O'Farrell 1995	RCT でない
O'Farrell 2004	RCT でない
Palmer 1992	CBT でない
Pressman 1983	RCT でない
Rosenbaum 1997	RCT でない. おそらく CBT でない
Satel 2001	誤った参加者及び査読
Schuerger 1988	RCT でないまた, CBT でない
Sherman 1984	CBT でない
Sherman 1991	CBT でない
Shupe 1987	査読
South Florida 2002	要約しか入手できず
Stacey 1984	RCT でない
Sullivan 1990	CBT でない. 参加者の誤り
Taft 2004	RCT でない
Taylor 1984	RCT でない. CBT でない
Tennant 1998	参加者の誤り. RCT でない
Uphshaw 2005	結果は, 疲労症状, 個人間の関係, 社会的役割の調整, 幸福であり, 男性のパートナーへの暴力をやめたか否かではなかった。
Wade 1985	RCT でない
Watt 1999	参加者の誤り
Weidman 1986	介入に関する研究ではない
Williams 1995	RCT でない. おそらく CBT でない

## 研究文献リスト 採用された研究

### **Bronx Exp. 2005 {published data only}**

Labriola M, Rempel M, Davis RC. Testing the Effectiveness of Batterer Programs and Judicial Monitoring: Results from a Randomized Trial at the Bronx Misdemeanor Domestic Violence Court. New York, NY: Center for Court Innovation, 2005.

### **Brooklyn Exp. 2000 {published data only}**

Davis RC, Taylor BG, Maxwell CD. Does Batterer Treatment Reduce Violence? A Randomized Experiment in Brooklyn -- Executive Summary Included (available online: [www.ncjrs.gov/pdffiles1/nij/grants/180772.pdf](http://www.ncjrs.gov/pdffiles1/nij/grants/180772.pdf) , accessed January 2006). Washington, DC: US Dept. of Justice, 2000.

Maxwell CD, Davis RC, Taylor BG. Results From the Brooklyn Domestic Violence Treatment Experiment (NCJ 199728) (available online: [www.ncjrs.gov/pdffiles1/nij/199728](http://www.ncjrs.gov/pdffiles1/nij/199728), accessed January 2006). Washington DC: National Institute of Justice, US Dept. of Justice, 2004.

\* Taylor BG, Davis RC, Maxwell CD. The effects of a group batterer treatment program: a randomized experiment in Brooklyn. *Justice Quarterly* 2001;18(1):171-201.

### **Broward Exp. 2000 {published data only}**

Feder L, Forde DR. Test of the efficacy of court-mandated counseling for domestic violence offenders: The Broward Experiment (available online: [www.ncjrs.gov/pdffiles1/nij/grants/184631.pdf](http://www.ncjrs.gov/pdffiles1/nij/grants/184631.pdf) : accessed January 2006). Washington DC: US Dept. of Justice, 2000.

\* Feder L, Dugan L. A test of the efficacy of court-mandated counseling for domestic violence offenders: The

Broward Experiment. *Justice Quarterly* 2002;19(2):343-75.

**San Diego Navy 2000 {published data only}**

\* Dunford FW. The San Diego Navy experiment: an assessment of interventions for men who assault their wives. *Journal of Consulting & Clinical Psychology* 2000;68(3):468-76.

Dunford, FW. Determining program success: the importance of employing experimental research designs. *Crime and Delinquency* 2000;46(3):425-34.

**Wisconsin Study 1996 {published data only}**

\* Saunders DG. Feminist-cognitive-behavioral and process-psychodynamic treatments for men who batter: interaction of abuser traits and treatment models. *Violence & Victims* 1996;11(4):393-414.

**Yale Study 2007 {unpublished data only}**

Easton CJ, Mandel D, Babuscio T, Rounsaville BJ, Carroll KM. Differences in treatment outcome between male alcohol dependent offenders of domestic violence with and without positive drug screens. *Addictive Behaviors* 2007;Feb 4; [Epub ahead of print]:doi: 10.1016/j.addict.2007.01.031.

\* Easton CJ, Mandel DL, Hunkele KA, Nich C, Rounsaville BJ, Carroll KM. A cognitive behavioral therapy for alcohol-dependent domestic violence offenders: an integrated substance abuse-domestic violence treatment approach (SADV). *American Journal on Addictions* 2007;16(1):24-31.

Easton CJ. Treatment outcome among substance-dependent offenders of intimate partner violence: A randomized trial. CPDD-2005 Orlando Florida 2005.

採用されなかった研究

**Bern 1984 {published data only}**

Bern EH, Bern LL. A group program for men who commit violence towards their wives. *Social Work with Groups* 1984;7(1):63-77.

**Currie 1983 {published data only}**

Currie DW. A Toronto model. *Social Work with Groups* 1983;6(3-4):179-88.

**Currie 1985 {published data only}**

Currie D. Group model for men who assault their partners. In: D. Sinclair, editor(s). *Understanding Wife Assault: A Training Manual for Counsellors and Advocates*. Toronto: Ontario GovernmentBookstore, 1985:120-43.

**Deschner 1986 {published data only}**

Deschner J. *The Hitting Habit: Anger Control for Battering Couples*. New York: Free Press, 1986.

**Dowden 1999 {published data only}**

Dowden C, Blanchette K, Serin R. Anger management programming for federal male inmates: an ineffective intervention. Ottawa: Research Branch, Correctional Service Canada, 1999.

**Dutton 1986 {published data only}**

Dutton DG. The outcome of court-mandated treatment for wife-assault: a quasi-experimentalevaluation. *Violence and Victims* 1986;1(3):163-175.

**DVFCT Program 2004 {published data only}**

Stith SM, Rosen KH; McCollum EE, Thomsen CJ. Treating intimate partner violence within intact couple relationships: Outcomes of multi-couple versus individual couple therapy. *Journal of Marital and Family Therapy* 2004;30(3):305-18.

**Easton 2006 {published data only}**

Easton CJ. The role of substance abuse in intimate partner violence. *Psychiatric Times* 2006; 23: 25-7.

**Echeburúa 1997 {published data only}**

Echeburúa E, Fernández-Montalvo J. Tratamiento cognitivo-conductual de hombres violentos en el hogar: Un estudio piloto [Cognitive-behavioral treatment of abusive men: a pilot study [Spanish]]. *Análisis y Modificación de Conducta* 1997;23(89):355-384.

**Eckhardt 2004 {published data only}**

Eckhardt CI. Partner assaultive men and the stages and processes of change. *Journal of Family Violence* 2004;19(2):81-93.

**Edleson 1990 {published data only}**

Edleson JL, Syers M. Relative effectiveness of group treatments for men who batter. *Social Work Research and Abstracts* 1990;26(2):10-8.

**Edleson 1991 {published data only}**

Edleson JL, Syers M. The effects of group treatment for men who batter: An 18-month follow-up study. *Research on Social Work Practice* 1991;1(3):227-43.

**Elliott 2003 {published data only}**

Elliott JD. Responsibility acceptance and aggression changes in group therapy for relationship abuse perpetrators (Phd). Baltimore, MD: University of Maryland, 2002.

**Fals-Stewart 2001 {published data only}**

Fals-Stewart W, O'Farrell TJ, Birchler GR. Behavioral couples therapy for male methadone maintenance patients: Effects on drug-using behavior and relationship adjustment. *Behavior Therapy* 2001; 32(2):391-411.

**Fals-Stewart 2002 {published data only}**

Fals-Stewart W, Kashdan TB, O'Farrell TJ, Birchler GR. Behavioral couples therapy for drug-abusing patients: effects on partner violence. *Journal of Substance Abuse Treatment* 2002;22(2):87-96.

**Fals-Stewart 2005 {published data only}**

Fals-Stewart W, Kennedy C. Addressing intimate partner violence in substance-abuse treatment. *Journal of Substance Abuse Treatment* 2005;29:5-17.

**Flournoy 1992 {published data only}**

Flournoy PS. A comparison of groups for men who batter (Phd). Pullman WA: Washington State University, 1992.

**Goldkamp 1996 {published data only}**

Goldkamp JS, Weiland D, Collins M, White M. The role of drug and alcohol abuse in domestic violence and its treatment: Dade County's domestic violence court experiment. Final report. Philadelphia, PA: Crime and Justice Research Institute, 1996.

**Gondolf 1985 {published data only}**

Gondolf, E. Men who batter. An integrated approach for stopping wife abuse. Holmes Beach, FL: Learning Publications, 1985.

**Gondolf 2000 {published data only}**

Gondolf EW. A 30-month follow-up of court-referred batterers in four cities. *International Journal of Offender Therapy and Comparative Criminology* 2000;44(1):111-28.

**Gondolf 2001 {published data only}**

Gondolf E, Snow JA. The program effect of batterer programs in three cities. *Violence & Victims* 2001;16(6):693-704.

**Gondolf 2004 {published data only}**



Gondolf EW. Regional and cultural utility of conventional batterer counseling. *Violence against Women* 2004; 10(8):880-900.

**Gondolf 2005 {unpublished data only}**

Gondolf E. Culturally-focused batterer counseling for African-American men. Final report. Washington, DC: National Institute of Justice, 2005.

**Gray 2004 {published data only}**

Gray YL. e-Health for all: designing nurses agenda for the future. In: 8th International Conference in Nursing informatics. Knowledge Representation: mapping violence and spousal abuse using the international Classification for Nursing Practice. E-papers Servicos Editoriais Ltda. Rio de Janeiro, Brazil, 2003.

**Hamberger 1989 {published data only}**

Hamberger LK, Hastings JE. Counseling male spouse abusers: characteristics of treatment completers and dropouts. *Violence & Victims* 1989;4(4):275-86.

**Hanson 2003 {published data only}**

Hanson RK, Wallace-Capretta S. A multi-site study of treatment for abusive men. Public Works and Government Services Canada 2003.

**Harrell 1991 {published data only}**

Harrell A. Evaluation of court-ordered treatment for domestic violence offenders: final report. Washington DC: Urban Institute, Washington DC, 1991.

**Harris 1981 {published data only}**

Harris S, Sinclair D. Domestic violence project. A comprehensive model for intervention into the issue of domestic violence. Toronto, CA: Family Services Association of Metropolitan Toronto, 1981.

**Hendricks 2006 {published data only}**

Hendricks B, Werner T, Shipway L, Turinetti GJ. Recidivism among spousal abusers. Predictions and program evaluation. *Journal of Interpersonal Violence* 2006;21(6 (June)):703-16.

**Howard County 2003 {published data only}**

Elliott JD. Responsibility acceptance and aggression changes in group therapy for relationship abuse perpetrators. Baltimore MD: University of Maryland, 2002. Morrel TM. Changes in self-efficacy, self-esteem and aggression in male batterers: A comparison of cognitive-behavioral and supportive group therapies (dissertation). University of Maryland: College Park, MD, 2000.

\* Morrel TM, Elliott JD, Murphy CM, Taft CT. Cognitive behavioral and supportive group treatments for partner-violent men. *Behavior Therapy* 2003;34(1):77-95.

**Johnston 1985 {published data only}**

Johnston JD. A social learning and cognitive-behavioural analysis of aggressive and violent behaviour (PhD). Toronto: University of Toronto, 1985.

**Jones 2001 {published data only}**

Jones NG. A study of the influence of protective factors as a resource to traditional batterers' interventions in a population of African American active-duty male batterers (DSW). Norfolk: Norfolk State University, 2001.

**Jones 2002 {published data only}**

Jones NG. A study of the influence of protective factors as a resource to African American males in traditional batterers' interventions. *Journal of Health & Social Policy* 2002;16(1-2):169-183.

**Kriner 1988 {published data only}**

Kriner L, Waldron B. Group counseling: A treatment modality for batterers. *Journal for Specialists in Group Work* 1988;13(3):110-16.

**Lanza 2002 {published data only}**

Lanza ML, Anderson J, Boisvert CM, LeBlanc A, Fardy M, Steel B. Assaultive behavior intervention in the Veterans Administration: psychodynamic group psychotherapy compared to cognitive behavior therapy. *Perspectives in Psychiatric Care* 2002;38(3):89-97.

**Lawson 2006 {published data only}**

Lawson DM, Barnes AD, Madkins JP, Francois-Lamonte BM. Changes in male partner abuser attachment styles in group treatment. *Psychotherapy: Theory, Research, Practice, Training* 2006;43(2):232-37.

**Leonard 2005 {published data only}**

Leonard KE. Alcohol and intimate partner violence: when can we say that heavy drinking is a contributing cause of violence? *Addiction* 2005;100:422-25.

**Loza 1999 {published data only}**

Loza W, Loza FA. The fallacy of reducing rape and violent recidivism by treating anger. *International Journal of Offender Therapy and Comparative Criminology* 1999;43(4):492-502.

**McAllister 2003 {unpublished data only}**

McAllister J. Intervention with batterers: Reexamining the significance of gender-role beliefs. San Francisco, CA: Saybrook Graduate School and Research Center, 2003.

**Moore 1994 {published data only}**

Moore KJ. The outcome evaluation of a cognitive behavior treatment program for court-mandated batterers residing in Broward County, Florida. Miami, FL: Florida International University, 1994.

**Morrel 2000 {published data only}**

Morrel TM. Changes in self-efficacy, self-esteem and aggression in male batterers: A comparison of cognitive-behavioral and supportive group therapies (dissertation). College Park, MD: University of Maryland, 2000.

**Morrel 2003 {published data only}**

Morrel TM, Elliot JD, Murphy CM, Taft CT. Cognitive behavioral and supportive group treatments for partner-violent men. *Behavior Therapy* 2003; 34(1):77-95.

**New Zealand 2005 {published data only}**

\* Polaschek DLL, Wilson NJ, Townsend MR, Daly LR. Cognitive-behavioral rehabilitation for high-risk violent offenders. An outcome evaluation of the violence prevention unit. *Journal of Interpersonal Violence* 2005;20(12):1611-27.

**Nosko 1988 {published data only}**

Nosko A, Wallace B. Group with abusive men: A multi-dimensional model. *Social Work with Groups* 1988;11(3):33-52.

**O'Farrell 1995 {published data only}**

O'Farrell TJ, Murphy CM. Marital violence before and after alcoholism treatment. 1995 *Journal of Consulting & Clinical Psychology*;63(2):256-62.

**O'Farrell 2004 {published data only}**

O'Farrell TJ, Murphy CM, Stephan SH, Fals-Stewart W, Murphy M. Partner violence before and after couples-based alcoholism treatment for male alcoholic patients: the role of treatment involvement and abstinence. *Journal of Consulting & Clinical Psychology* 2004;72(2):202-17.

**Palmer 1992 {published data only}**

Palmer S, Brown R, Barrera M. Group treatment program for abusive husbands: Long-term evaluation. *American Journal of Orthopsychiatry* 1992;62(2):276-83.

**Pressman 1983 {published data only}**

Pressman BM. Family violence: Origin and treatment. San Francisco: Jossey-Bass, 1983.

**Rosenbaum 1997 {published data only}**

Rosenbaum A, Gearan P, Ondovic, C. Completion and recidivism among court- and self-referred batterers in a psychoeducational group treatment program: implications for intervention and publicpolicy. *Journal of Aggression, Maltreatment & Trauma* 2001; 5(2):199-220.

**Satel 2001 {published data only}**

Satel SL. Who needs trauma initiatives? *Psychiatric Services* 2001;52(6):815-815.

**Schuerger 1988 {published data only}**

Schuerger JM, Reigle N. Personality and biographic data that characterize men who abuse their wives. *Journal of Clinical Psychology* 1988;44(1):75-81.

**Sherman 1984 {published data only}**

Sherman LW, Berk RA. The deterrent effects of arrest for domestic assault. *American Sociological Review* 1984; 49(2):261-72.

**Sherman 1991 {unpublished data only}**

Sherman LW, Schmidt JD, Gartin RR, Rogan D, Collins DJ, Bacich A, Cohn EG. Effects of on-scene arrest on subsequent domestic violence: A randomized field experiment. In: Joint Conference on Evaluation of the Organization for Economic Cooperation and Development (OECD). Washington DC: U.S. Department of Education and U.S. Department of Health and Human Services, 1991.

**Shupe 1987 {published data only}**

Shupe A, Stacey WA, Hazlewood LR. Violent men, violent couples: The dynamics of domestic violence. Lanham, MD: Lexington Books, 1987.

**South Florida 2002 {published data only}**

Pilet GA. Efficacy of adult psychoeducation in an anger management portion of a domestic violence treatment program (PhD). Tampa FL: University of South Florida, 2002.

**Stacey 1984 {published data only}**

Stacey WA, Shupe A. Research Monograph No. 29. Arlington, TX: Center for Social Research, The University of Texas, 1984.

**Sullivan 1990 {published data only}**

Sullivan JP, Mosher DL. Acceptance of guided imagery of marital rape as a function of macho personality. *Violence & Victims* 1990;5(4):275-286.

**Taft 2004 {published data only}**

Taft CT, Murphy CM, Musser PH, Remington NA. Personality, interpersonal, and motivational predictors of the working alliance in group cognitive-behavioral therapy for partner violent men. *Journal of Consulting and Clinical Psychology* 2004; 72(2):349-354.

**Taylor 1984 {published data only}**

Taylor J. Structured conjoint therapy for spouse abuse cases. *Social Casework* 1984;65:11-8.

**Tennant 1998 {published data only}**

Tennant A, Hughes G. Men talking about dysfunctional masculinity: an innovative approach to working with aggressive, personality disordered offender-patients. *Psychiatric Care* 1998;5(3):92-9.

**Upshaw 2005 {unpublished data only}**

Upshaw R. The efficacy of thought field therapy as an adjunct treatment modality for male domestic-violence perpetrators with domestic abuse in their family of origin. Minneapolis, MN: Walden University, 2005.

**Wade 1985 {published data only}**

Wade TF. A time-limited conjoint cognitive-behavioral treatment for abusive spouses (dissertation). Missoula, MT: University of Montana, 1985.

**Watt 1999 {published data only}**

Watt B, Howells K. Skills training for aggression control: evaluation of an anger management programme for violent offenders. *Legal and Criminological Psychology* 1999; 4(2):285-300.

**Weidman 1986 {published data only}**

Weidman A. Family therapy with violent couples. *Social Casework* 1986; 67: 211-18.

**Williams 1995 {published data only}**

Williams OJ. Treatment for African American men who batter. *CURA Reporter: Bulletin of the Center for Urban and Regional Affairs, University of Minnesota* 1995; 25(3):12-6.

## 分析待ちの研究

**Rathus 2006 {published data only}**

Rathus JH, Cavuoto N, Passarelli V. Dialectical behavior therapy (DBT): A mindfulness-based treatment for intimate partner violence. In: Baer RA, editor(s). *Clinician's guide to evidence base and applications*. Burlington, MA, USA: Academic Press, 2006:424.

\* indicates the primary reference for the study

## その他の文献

### 追加的文献

**Arias 2002**

Arias I, Dankwort J, Douglas U, Dutton MA, Stein K. Violence against women: the state of batterer prevention programs. *The Journal of Law, Medicine, & Ethics* 2002;30(3):157-65.

**Babcock 2004**

Babcock JC, Green CE, Robie C. Does batterers' treatment Work? A meta-analytic review of domestic violence treatment outcome research. *Clinical Psychology Review* 2004;23:1023-1053.

**Beck 1979**

Beck AT, Rush AJ, Shaw BF, Emery G. *Cognitive therapy of depression*. New York: The Guilford Press, 1979.

**Butler 2000**

Butler AC, Beck JS. Cognitive therapy outcomes: a review of meta-analyses. *Journal of the Norwegian Psychological Association* 2000;37:1-9.

**CDCP 2003**

Center for Disease Control and Prevention (CDCP). Domestic and Intimate Partner Violence. <http://www.cdc.gov/communication/tips/domviol.htm> (accessed December 2004) 2003 (July 23).

**Davis 1999**

Davis RC, Taylor BG. Does batterer treatment reduce violence? A synthesis of the literature. *Women and Domestic Violence: An Interdisciplinary Approach* 1999;10:69-93.

**Dobash 2000**

Dobash RE, Dobash RP. Evaluating criminal justice interventions for domestic violence. *Crime &*

Delinquency 2000;46:252-70.

**Egger 1997**

Egger M, Davey Smith G, Schneider M, Minder C. Bias in meta-analysis detected by a simple, graphical test. British Medical Journal 1997;315:629-34.

**Higgins 2002**

Higgins JP, Thompson SG. Quantifying heterogeneity in a meta-analysis. Statistics in Medicine 2002;21:1539-58.

**Higgins 2005**

Higgins JPT, Green S. Cochrane Reviewers' Handbook 4.2.5 [updated May 2005]. In: The Cochrane Library. Chichester: UK: John Wiley & Sons, Ltd, 2005.

**Pence 1993**

Pence E, Paymar M. Education groups for men who batter: The Duluth model. New York: Springer, 1993.

**Smedslund 2006**

Smedslund G, Hagen KB, Steiro A, Johme T, Dalsbo TK, Rud MG. Work programmes for welfare recipients (<http://www.campbellcollaboration.org/frontend2.asp?ID=54>). Philadelphia, PA: Campbell Collaboration, 2006 (August).

**SRS 2005**

SRS. Version 3.0 [Computer program]. Ottawa, Ontario, Canada: Trialstat, 2005.

**WHO 2002**

World Health Organization. Intimate partner violence.

[http://www.who.int/violence\\_injury\\_prevention/violence/global\\_campaign/en/ipvfacts.pdf](http://www.who.int/violence_injury_prevention/violence/global_campaign/en/ipvfacts.pdf) (accessed 22 December 2004) 2002.

## 比較表

### 01 CBT 対対照群

01 新たな暴力の割合

### 02 CBT 対他のセラピー

01 新たな暴力の割合

02 暴力の頻度

03 その他の暴力

表 01 研究の質

研究名	割付手順	割付陰蔵	パフォーマンス バイアス	検出バイアス	減衰バイアス	ITT
Bronx	適合	適合	適合	不詳	不適合	適合
Brooklyn	適合	不適合	不詳	不詳	不適合	適合
Broward	適合	不適合	適合	不詳	不詳	適合
San Diego	適合	適合	適合	不詳	適合	適合
Wisconsin	不詳	不詳	適合	不詳	不詳	適合
Yale	不適合	適合	不詳	適合	不適合	適合

表 02 MEDLINE 検索方法

MEDLINE

MEDLINE

Database: MEDLINE 1966 to September Week 3 2006

Date: 05.10.2006

Search by Sigrun Espelien Aasen

Number of hits: 26

Search strategy in OVID : CBT\_Medline 041006

- 1.Battered Women/
- 2.domestic violence/ or spouse abuse/
- 3.((family or domestic or conjugal or partner) adj3 violence).tw.
- 4.((abus\$ or batter\$ or beat\$ or assault\$) adj3 (wom?n or partner\$ or spouse\$ or female\$ or wife or wives or domestic\$ or fiance or cohabitant\$ or live?in)).tw.
- 5.((male\$ or men or man or partner\$ or spouse\$ or husband or fiance or cohabitant\$ or live?in) adj3 (batter\$ or perpetrator\$ or abus\$ or violen\$ or beat\$ or assault)).tw.
- 6.or/1-5
- 7.behavior therapy/ or cognitive therapy/
- 8.psychotherapy, rational-emotive/
- 9.(cognitiv\$ adj3 (therap\$ or train\$ or techni\$ or question\$ or approach\$ or assessment\$)).tw.
- 10.(behavio?r\$ adj3 (therap\$ or train\$ or modif\$ or experiment\$)).tw.
- 11.(rational\$ adj3 emotive\$).tw.
- 12.cbt.tw.
- 13.(schemas or schematas).tw.
- 14."Imagery (Psychotherapy)"/
- 15.imager\$.tw.
- 16.((cognitive\$ or mental\$) adj3 (map\$ or model\$)).tw.
- 17.(socratic\$ adj3 (question\$ or method\$ or dialogue\$ or strateg\$ or sequence\$)).tw.
- 18.(dysfunctional adj2 (thought\$ or assumption\$ or rule\$ or appraisal\$ or belief\$ or attitude\$ or scheme\$)).tw.
- 19.(automatic adj3 (thought\$ or process\$)).tw.
- 20.(nat or nats).tw.
- 21.reattribution\$.tw.
- 22.((key or core) adj2 belief\$).tw.
- 23.or/7-22
- 24.6 and 23





表 03 EMBASE 検索方法

EMBASE

EMBASE

Database: EMBASE 1980 to 2006 Week 39

Date: 05.10.2006

Search by Sigrun Espelien Aasen

Number of hits: 112

Search strategy for OVID : CBT\_Embase 041006

- 1.exp domestic violence/ or battered woman/ or family violence/ or partner violence/
- 2.((family or domestic or conjugal or partner) adj3 violence).tw.
- 3.((abus\$ or batter\$ or beat\$ or assault\$) adj3 (wom?n or partner\$ or spouse\$ or female\$ or wife or wives or domestic\$ or fiance or cohabitant\$ or live?in)).tw.
- 4.((male\$ or men or man or partner\$ or spouse\$ or husband or fiance or cohabitant\$ or live?in) adj3 (batter\$ or perpetrator\$ or abus\$ or violen\$ or beat\$ or assault)).tw.
- 5.or/1-4
- 6.behavior therapy/ or cognitive therapy/
- 7.behavior modification/
- 8.(cognitiv\$ adj3 (therap\$ or train\$ or techni\$ or question\$ or approach\$ or assessment\$)).tw.
- 9.(behavio?r\$ adj3 (therap\$ or train\$ or modif\$ or experiment\$)).tw.
- 10.(rational\$ adj3 emotive\$).tw.
- 11.cbt.tw.
- 12.(schema\$ or schemata\$).tw.
- 13.imagery/
- 14.imager\$.tw.
- 15.((cognitiv\$ or mental\$) adj3 (map\$ or model)).tw.
- 16.(socratic\$ adj3 (question\$ or method\$ or dialogue\$ or strateg\$ or sequence\$)).tw.
- 17.(dysfunctional adj2 (thought\$ or assumption\$ or rule\$ or appraisal\$ or belief\$ or attitude\$ or scheme\$)).tw.
- 18.(automatic adj2 (thought\$ or process\$)).tw.
- 19.(nat or nats).tw.
- 20.reattribution\$.tw.
- 21.((key or core) adj2 belief\$).tw.
- 22.or/6-21
- 23.5 and 22
- 24.limit 23 to yr="2005 - 2006

表 04 CINAHL 検索方法

CINAHL

CINAHL

Database: CINAHL - Cumulative Index to Nursing & Allied Health Literature

1982 to September Week 5 2006

Date: 05.10.2006

Search by Sigrun Espelien Aasen

Number of hits: 14

Search strategy in OVID: CBT\_Cinahl 041006

- 1.Battered Women/
- 2.Domestic Violence/
- 3.partner abuse/ or spouse abuse/
- 4.((family or domestic or conjugal or partner) adj3 violence).tw.
- 5.((abus\$ or batter\$ or beat\$ or assault\$) adj3 (wom?n or partner\$ or spouse\$ or female\$ or wife or wives or domestic\$ or fiance or cohabitant\$ or live?in)).tw.
- 6.((male\$ or men or man or partner\$ or spouse\$ or husband or fiance or cohabitant\$ or live?in) adj3 (batter\$ or perpetrator\$ or abus\$ or violen\$ or beat\$ or assault)).tw.
- 7.or/1-6
- 8.behavior therapy/ or cognitive therapy/
- 9.Behavior Modification/
- 10.(cognitiv\$ adj3 (therap\$ or train\$ or techni\$ or question\$ or approach\$ or assessment\$)).tw.
- 11.(behavio?r\$ adj3 (therap\$ or train\$ or modif\$ or experiment\$)).tw.
- 12.(rational\$ adj3 emotive\$).tw.
- 13.cbt.tw.
- 14.(schema\$ or schemata\$).tw.
- 15.imagination/ or guided imagery/
- 16.imager\$.tw.
- 17.Concept Mapping/
- 18.((cognitiv\$ or mental\$) adj3 (map\$ or model)).tw.
- 19.(socratic\$ adj3 (question\$ or method\$ or dialogue\$ or strateg\$ or sequence\$)).tw.
- 20.(dysfunctional adj2 (thought\$ or assumption\$ or rule\$ or appraisal\$ or belief\$ or attitude\$ or scheme\$)).tw.
- 21.(automatic adj2 (thought\$ or process\$)).tw.
- 22.(nat or nats).tw.
- 23.reattribution\$.tw.
- 24.((key or core) adj2 belief\$).tw.
- 25.or/8-24
- 26.7 and 25
- 27.limit 26 to yr="2005 - 2006"

表 05 PsycINFO 検索方法

PsycINFO

PsycINFO

Database: PsycINFO 1806 to October Week 1 2006

Date: 05.10.2006

Search by Sigrun Espelien Aasen

Number of hits: 55

Search strategy in OVID: "CBT\_PsychInfo 041006"

- 1.partner abuse/
- 2.family violence/
- 3.((family or domestic or conjugal or partner) adj3 violence).tw.
- 4.battered females/
- 5.((abus\$ or batter\$ or beat\$ or assault\$) adj3 (wom?n or partner\$ or spouse\$ or female\$ or wife or wives or domestic\$ or fiance or cohabitant\$ or live?in)).tw.
- 6.((male\$ or men or man or partner\$ or spouse\$ or husband or fiance or cohabitant\$ or live?in) adj3 (batter\$ or perpetrator\$ or abus\$ or violen\$ or beat\$ or assault)).tw.
- 7.or/1-6
- 8.cognitive therapy/
- 9.cognitive behavior therapy/
- 10.rational emotive behavior therapy/
- 11.exp behavior therapy/
- 12.behavior modification/
- 13.cognitive assessment/
- 14.(cognitiv\$ adj3 (therap\$ or train\$ or techni\$ or question\$ or approach\$ or assessment\$)).tw.
- 15.(behavio?r\$ adj3 (therap\$ or train\$ or modif\$ or experiment\$)).tw.
- 16.(rational\$ adj3 emotive\$).tw.
- 17.cbt.tw.
- 18.schema/
- 19.(schema\$ or schemata\$).tw.
- 20.exp imagery/ or conceptual imagery/
- 21.imager\$.tw.
- 22.cognitive maps/
- 23.mental models/
- 24.((cognitiv\$ or mental\$) adj3 (map\$ or model)).tw.
- 25.(socratic\$ adj3 (question\$ or method\$ or dialogue\$ or strateg\$ or sequence\$)).tw.
- 26.(dysfunctional adj2 (thought\$ or assumption\$ or rule\$ or appraisal\$ or belief\$ or attitude\$ or scheme\$)).tw.
- 27.(automatic adj2 (thought\$ or process\$)).tw.
- 28.(nat or nats).tw.
- 29.reattribution\$.tw.
- 30.((key or core) adj2 belief).tw.
- 31.or/8-29
- 32.7 and 31
- 33.limit 32 to yr="2005 - 2006"

表 06 ERIC 検索方法

ERIC

ERIC

Search by Sigrun Espelien Aasen  
 Database: ERIC, searched 1966 to September 2006.  
 Date: 29.11.2006  
 Number of hits: 1

CBT\_Eric via Ovid

- 1.family violence/
- 2.battered women/
- 3.(abuse\$ adj3 (wom?n or partner\$ or spouse\$ or female\$ or wife or wives or domestic\$)).tw.
- 4.(batter\$ adj3 (wom?n or partner\$ or spouse\$ or female\$ or wife or wives)).tw.
- 5.(violen\$ adj3 (partner\$ or spous\$ or family or families or domestic\$ or conjugal\$)).tw.
- 6.or/1-5
- 7.cognitive restructuring/
- 8.exp behavior modification/
- 9.(cognitiv\$ adj3 (therap\$ or train\$)).tw.
- 10.(behavio?r\$ adj3 (therap\$ or train\$)).tw.
- 11.(behavio?r\$ adj3 modif\$).tw.
- 12.or/7-11
- 13.6 and 12

Search in ERIC via CSA Illumina 29.11.06

((DE="family violence") or (DE="battered women") or ((TI=abuse\* or AB=abuse\*) within 3 (TI=(wom\*n or partner\* or spouse\* or female\* or wife or wives or domestic\*) or AB=(wom\*n or partner\* or spouse\* or female\* or wife or wives or domestic\*))) or ((TI=batter\* or AB=batter\*) within 3 (TI=(wom\*n or partner\* or spouse\* or female\* or wife or wives) or AB=(wom\*n or partner\* or spouse\* or female\* or wife or wives))) or ((TI=violen\* or AB=violen\*) within 3 (TI=(partner or spous\* or family or families or domestic\* or conjugal\*) or AB=(partner or spous\* or family or families or domestic\* or conjugal\*)))) and (((DE="cognitive restructuring") or (DE=("behavior modification" or "contingency management" or "desensitization"))) or ((TI=(cognitiv\* or behavio\*r) or AB=(cognitiv\* or behavio\*r)) within 3 (TI=(therap\* or train\*) or AB=(therap\* or train\*))) or (TI=(behavio\*r\* within 3 modif\*) or AB=(behavio\*r\* within 3 modif\*)) or (TI=cbt or AB=cbt))

1 result found in Multiple Databases  
 + 346 results found in Community of Scholars: Social Science  
 2 results found in Web Resources Related to the Social Sciences/Humanities  
 Date Range: 2005 to 2007

表 07 Sociological Abstracts 検索方法

<p>Sociol. Abstracts</p> <p>CBT_Sociological Abstract2 search via Ovid Searched 1963 to September 2006</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.exp spouse abuse/</li> <li>2.battered women/</li> <li>3.family violence/</li> <li>4.((family or domestic or conjugal or partner) adj3 violence).tw.</li> <li>5.((abus\$ or batter\$ or beat\$ or assault\$) adj3 (wom?n or partner\$ or spouse\$ or female\$ or wife or wives or domestic\$ or fiance or cohabitant\$ or live?in)).tw.</li> <li>6.((male\$ or men or man or partner\$ or spouse\$ or husband or fiance or cohabitant\$ or live?in) adj3 (batter\$ or perpetrator\$ or abus\$ or violen\$ or beat\$ or assault)).tw.</li> <li>7.or/1-6</li> <li>8.behavior modification/</li> <li>9.treatment programs/</li> <li>10.treatment methods/</li> <li>11.(cognitiv\$ adj3 (therap\$ or train\$ or techni\$ or question\$ or approach\$ or assessment\$)).tw.</li> <li>12.(behavio?r\$ adj3 (therap\$ or train\$ or modif\$ or experiment\$)).tw.</li> <li>13.(rational\$ adj3 emotive\$).tw.</li> <li>14.cbt.tw.</li> <li>15.(schema\$ or schemata\$).tw.</li> <li>16.exp images/</li> <li>17.imager\$.tw.</li> <li>18.cognitive mapping/</li> <li>19.((cognitiv\$ or mental\$) adj3 (map\$ or model)).tw.</li> <li>20.(socratic\$ adj3 (question\$ or method\$ or dialogue\$ or strateg\$ or sequence\$)).tw.</li> <li>21.(dysfunctional adj1 (thought\$ or assumption\$ or rule\$ or appraisal\$ or belief\$ or attitude\$ or scheme\$)).tw.</li> <li>22.(automatic adj1 (thought\$ or process\$)).tw.</li> <li>23.(nat or nats).tw.</li> <li>24.reattribution\$.tw.</li> <li>25.((key or core) adj1 belief\$).tw.</li> <li>26.or/8-25</li> <li>27.7 and 26</li> </ol>
---

**表 08 Bibliography of Nordic Criminology 検索方法**

Bib. Nordic Crim.

Bibliography of Nordic criminology  
Searched 1999 to December 2006

Bibliography of Nordic criminology (<http://www.nsfk.org/>) was searched on December 11 2006 by GS, using the textword 'violence' and limiting the search to 2003-2006. The database was searched from 1999 up to 2003 by Torill Johme. There were 152 hits, but none were judged to be relevant.

**表 09 C2-SPECTR 検索方法**

C2-SPECTR

C2-SPECTR

C2-SPECTR was searched on December 12, 2006 by GS. All indexed fields or all non-indexed fields were searched for the term 'violence'. Of 49 hits, none were judged as relevant.

表 10 Additional methods for future updates 将来のアップデートのための追加的方法

Issue Method	
クラスターランダム化比較試験	クラスターランダム化試験にあつては、要素は個人そのものではなく、個人のグループ（例、裁判所、法域、刑務所、地域）である。そのような研究においては、分析単位のエラーに留意する必要がある。100 人の犯罪者が 25 人ずつの 4 法域にいる場合、2 つの法域が介入を行う群にランダムに割り付けられ、その他の 2 法域が対照群にランダムに割り付けられた場合、分析の対象数は 100 ではなく、より少なくなる。クラスターランダム試験におけるひとつの介入の効果的なサンプル数は原サンプルサイズをデザインエフェクトといわれる数で除したものである。一般的に使われるデザインエフェクトは通常、介入群で推定される。デザインエフェクトは $1+(m-1)r$ であり、 $m$ がクラスターの数であり、 $r$ がクラスター内の相関係数である。クラスターランダム化比較試験を取り入れるとした場合、クラスター内相関係数を測定しなければならない。総分散は、グループ間の分散 (VBG) とグループ内分散 (VWG) に分けられる。クラスター内相関係数 (ICC) は $VBG/(VBG+VWG)$ である。しかしながら、ICC は一次研究ではほとんど言及されていない。参加者の数は、ICC が矯正要因として用いられる場合にのみ、使用することができる。双極的データの場合、参加者の数とその事象を経験した者の数を同じデザインエフェクトで除することができる (Higgins 2005)。
治療すべき数	統計的に有意なメタ=アナリシスのために、われわれは治療すべき数 (NNT) を算出する予定である。
センシティブティ分析	採用された研究の数が十分となった場合に、センシティブティ分析により、異なる手法的特質のインパクトを調査する予定である。



図 01 - Funnel plot ファネルプロット漏斗図

Review: Cognitive behavioural therapy for men who physically abuse their female partner

Comparison: 01 CBT versus control

Outcome: 01 Proportion new violence

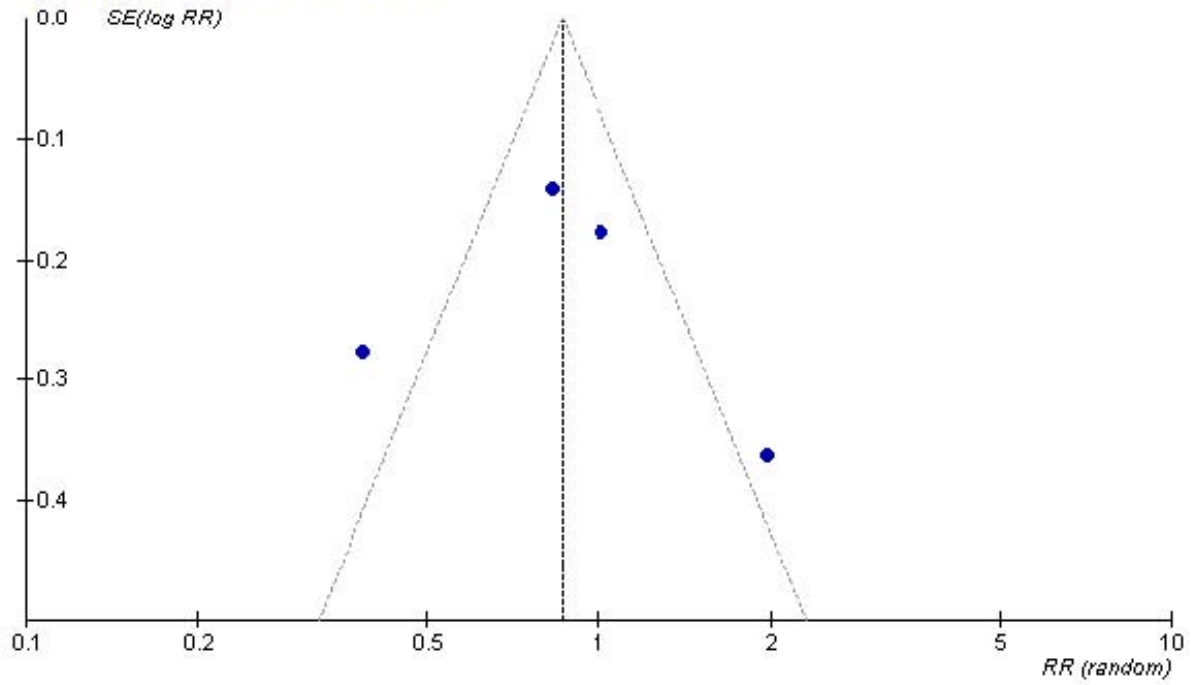
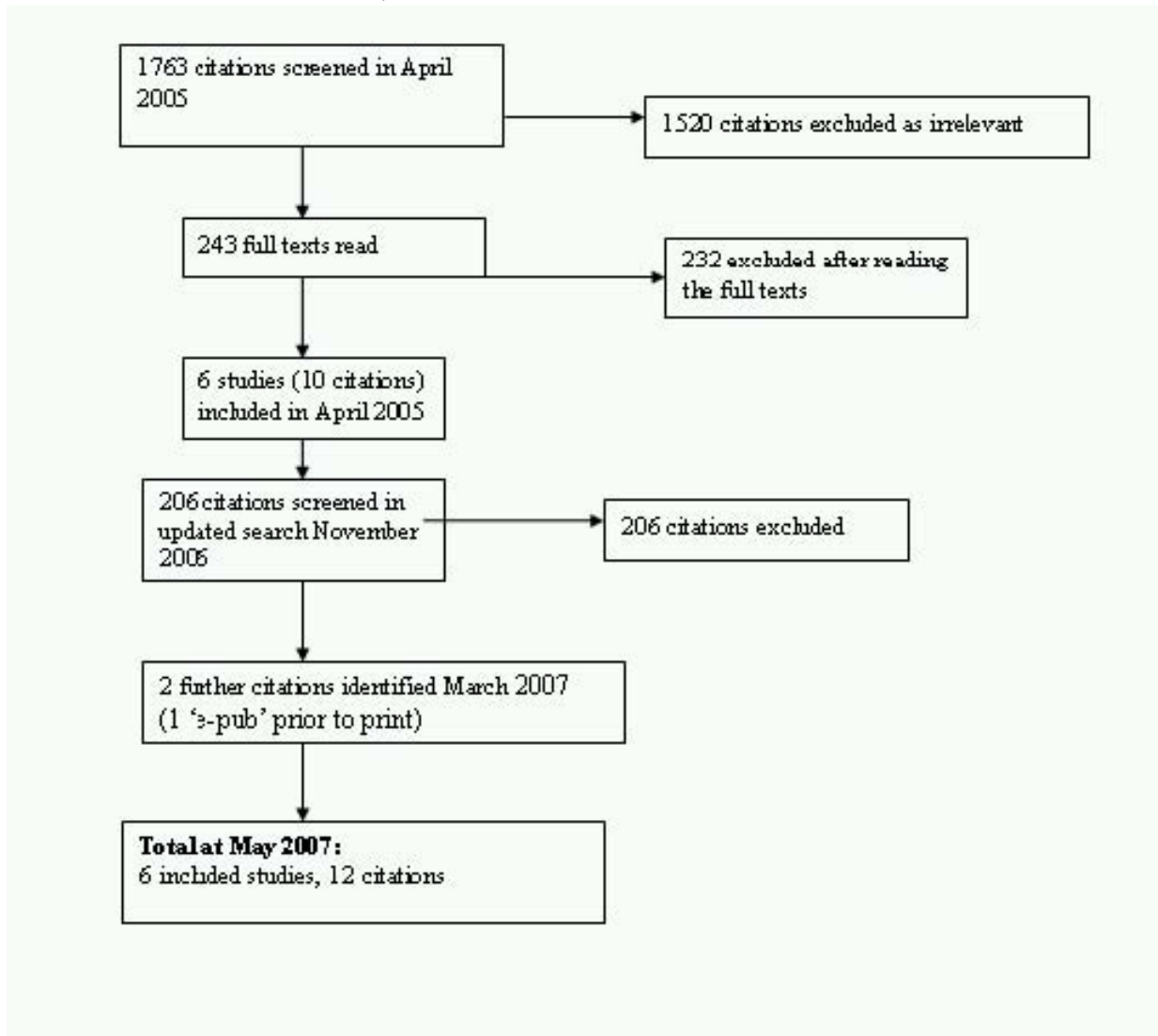


図 02 - Flowchart フローチャート



## 備考

Unpublished CRG notes

Exported from Review Manager 4.3

Published notes

This review is co-registered within the Cochrane Developmental, Psychosocial and Learning Problems Group (Cochrane Collaboration).

Amended sections

Cover sheet

Synopsis

Abstract

Background

Objectives

Criteria for considering studies for this review

Search strategy for identification of studies

Methods of the review

Description of studies

Methodological quality of included studies

Results

Discussion

Reviewers' conclusions

Acknowledgements

Potential conflict of interest

References to studies

Other references

Characteristics of included studies

Characteristics of excluded studies

Comparisons, data or analyses

Additional tables and figures

レビューワの連絡先の詳細

Asbjørn Steiro  
The Norwegian Health Services Research Centre  
PB 7004  
St. Olavs plass  
Oslo NORWAY  
N-0130  
E-mail: ast@kunnskapssenteret.no

Aina Winsvold  
Norwegian Knowledge Centre for Health Services  
PB7004  
Oslo  
NORWAY  
N-0130  
E-mail: awi@nokc.no

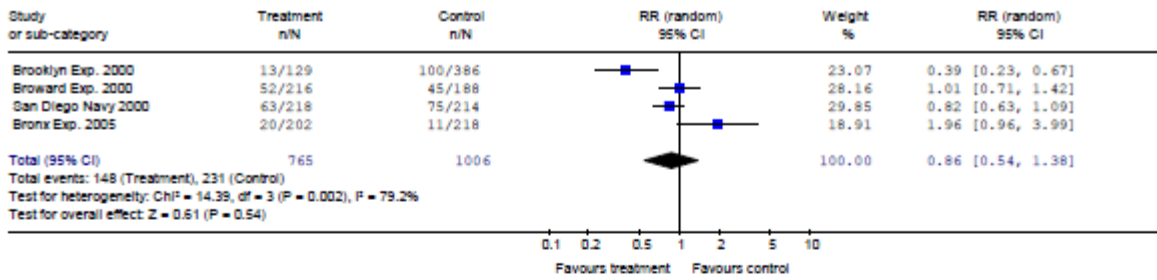
Jocelyne Clench-Aas  
Norwegian Institute of Public Health  
PO BOX 4404 Nydalen  
Oslo  
NORWAY  
N-0403  
Telephone 1: +47 23408361  
E-mail: joel@fhi.no

Therese K Dalsbø  
Almeveien 36  
Oslo  
NORWAY  
0855  
Telephone 1: +47 48271234  
E-mail: t.dalsbo-alumni@lse.ac.uk

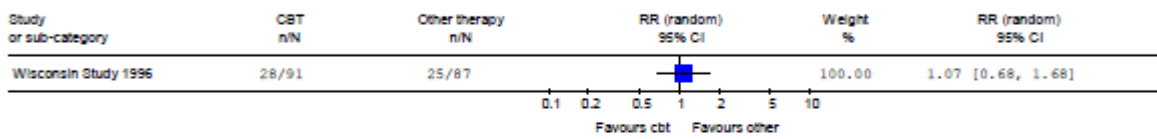
Total number of included studies: 6

Comparison or outcome	Studies	Participants	Statistical method	Effect size
01 CBT versus control				
01 Proportion new violence	4	1771	RR (random), 95% CI	0.86 [0.54, 1.38]
02 CBT versus other therapy				
01 Proportion new violence			RR (random), 95% CI	No total
02 Frequency of violence	1	58	SMD (random), 95% CI	0.30 [-0.22, 0.81]
03 Any violence	1	58	RR (random), 95% CI	1.50 [0.27, 8.32]

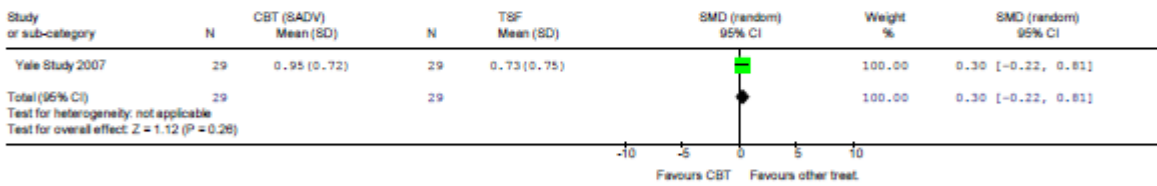
Review: Cognitive behavioural therapy for men who physically abuse their female partner (For publication)  
 Comparison: 01 CBT versus control  
 Outcome: 01 Proportion new violence



Review: Cognitive behavioural therapy for men who physically abuse their female partner (For publication)  
 Comparison: 02 CBT versus other therapy  
 Outcome: 01 Proportion new violence



Review: Cognitive behavioural therapy for men who physically abuse their female partner (For publication)  
 Comparison: 02 CBT versus other therapy  
 Outcome: 02 Frequency of violence



Review: Cognitive behavioural therapy for men who physically abuse their female partner (For publication)  
 Comparison: 02 CBT versus other therapy  
 Outcome: 03 Any violence

